

# PPSA-JC NEWS LETTER

Pan-pacific Surgical Association-Japan Chapter(PPSA-JC)

第30回会長 世良田和幸教授

ハワイ・オアフ島及びハワイ島で開催  
会期 2013.10.16～2013.10.19

第30回大会開催に向けて

この度、本年10月16日から19日にかけて、第30回環太平洋外科系学会日本支部（PPSA-JC）学術大会を昭和大学横浜市北部病院麻酔科が担当させて頂くことになりました。会場は、前回と同様のハワイ（ホノルル）のHawaii Prince Hotel Waikikiです。前回と同じハワイになったのは、10月12日からサンフランシスコでアメリカ麻酔学会（ASA）が開催され、このPPSAに参加してくれる麻酔科医の多くがサンフランシスコからの帰りにハワイに寄りたいという要望によるものです。本来は次週に予定していたのですが、2週続けて海



Hawaii Prince Hotel Waikiki

外に出張するのは難しいという意見が多かったこともあります。

今回のPPSA-JCは第30回という一つの節目の大会でもあります。和田寿郎先生が発起人であるこの会も、これまで多くの先生方に支えられ、今日まで脈々と続けられてきました。今回は、前理事長である草野先生に30回を迎えての先生の思いをたっぷり述べて頂こうと思います。また、ハワイ大学外科教授の町先生にアメリカにおける医学教育について、昭和大学藤が丘病院外科教授の田中先生には腹部内視鏡外科の現状と未来についてお話し頂く予定です。

この会の特徴は、様々な領域の先生方との出会いがあり、さらに若手の先生方の英語での発表の登竜門のような形態を維持してきたことだと思います。リラックスした中で、日本の先生方同志が英語で気楽にディスカッションする機会を得ることは、日本国内は勿論、海外での学会でもほとんど見られない光景です。このPPSA-JCで発表することによって、海外での発表に弾みが付き、一人でも多くの先生方が海外でのプレゼンテーションを行う機会を得ることを期待しています。



会場の、Hawaii Prince Hotel Waikikiは日本語の通じる快適なホテルです。アラモアナショッピングセンターには徒歩で約5分の距離にあり、目の前にはヨットハーバーや海水浴の出来る砂浜が広がり、ワイキキビーチにはタクシーで10分の距離にあります。ショッピング、海水浴などのマリンスポーツ、トロピカルな食事など楽しいイベントが目白押しです。16日のウエルカムパーティーや18日の

フェアウエルパーティーも、多くの皆様のご参加を得て、明るく楽しい雰囲気の中で行うことが出来たらと思っています。今回は、第30回ということで、ハワイ島でのサテライトプログラムも用意しました。残念ながら、月曜日までお休みの取れる方しか参加できませんが、ハワイ島でのゴルフは勿論、コナコーヒーの本場や夜の満天の星を見るツアーも用意しています。

2回続けてのハワイで、もう飽きたとおっしゃらず、また違ったハワイの魅力を堪能して頂けたらと思います。皆様の記憶に残る大会にしたいと思いますので、皆様のご参加を心からお待ちしています。



Hapuna Beach Prince Hotel  
(Hawaii island)

第30回環太平洋外科系学会日本支部会学術大会  
会長 世良田 和幸  
昭和大学横浜市北部病院麻酔科





## 第29回PPSA-JCを開催して 第29回会長 小川良雄教授

多数の皆様のご参加と暖かいご協力を賜り、第29回環太平洋外科系学会日本支部会（29<sup>th</sup> PPSA-JC）を終えることができましたので、ご報告いたします。



会期は2013年2月7日（木）から9日（土）の3日間で、会場はハワイ・オアフ島ホノルルのMOANA SURFRIDER, A WESTIN RESORT & SPAで開催いたしました。アナウンスが遅れたにもかかわらず約80名の方々の参加をいただきました。

2月7日（木）は未だ時差ぼけからさめやらぬ間でしたが、サーフライダーホテルのRoof Gardenにて行ないました。旧知の先生方々との再会を喜びあい、また新たな参加者の方々とも交歓を深めました。



2月8日（金）は朝8時から熱心な発表が始まりました。まず、特別プログラムとして本学会の創始者である故和田壽郎教授の奥様の和田周子様による和田先生の思い出のプレゼンテーションをしていただきました。和田先生の若き日々の写真、全てに情熱的で積極的に行動されていたことに感動いたしました。また最後に和田先生の「野バラ」の歌声をお聞かせいただき、在りし日の先生を忍びました。奥様の素晴らしい英語に感銘し、同時に私達が和田先生の作り上げたこの学会を更に発展させなければならないとの思いを新たにしました。

続いてMini Symposium Iとして8演題（形成外科は今回初めての参加で4題、麻酔科2題、口腔外科1題、耳鼻咽喉科1題）も活発に発表されました。

教育講演では函館新都市病院の浅井先生からApplication of aircraft in the case of big disasterという演題で、災害時における医療用ジェット機の活動についていつもながら熱のこもった講演をいただきました。北海道の広大な地域でドクターヘリよりもよりスピードの早いドクタージェットの活躍と有用性について知ることができました。

初日最後のセッションはSymposium Iでテーマは泌尿器科領域のMinimum Invasive Therapy for Prostate Cancerで医科歯科大Kijima先生はガスレスシングルポータラパロ前立腺全摘術、東京医大Iseki先生はロボット支援前立腺全摘術、帝京大Mutou先生はHIFUの長期成績、東京医療センターSaito先生からI-125による小線源療法、慶応大Nagata先生からラパロ/ブラキ/IMRTの長期成績の4演題について、それぞれのエキスパートから泌尿器科学領域で最もホットな話題である前立腺癌治療での最先端の講演をいただきました。

午後からは29<sup>th</sup> PPSA-JCゴルフコンペをHawaii Kai Golf Courseで開催しました。6組22名で日頃の腕を競い合い、薄暮となりながらもゴルフ好きの皆さんは最後までプレイを満喫しました。表彰式はフェアウェルパーティで行

ないました。



2月9日(土)2日目の最初のセッションはPoster Presentation Iで形成外科4題、外科5題、Poster Presentation IIで泌尿器科4題、救急医学3題、耳鼻咽喉科2題の演題がありました。若手の医師が英語でプレゼンし、熱心に討論しました。若手の先生で英語が堪能な先生が沢山いらっしゃることにびっくりしました。



Special lecture Iはハワイ大学の外科学教授Takanashi先生からSurgical Education in USAについての講演をいただきました。エネルギーギッシュなpresentationでUSAでのきちんと構築された教育を熱く語られ、日本の先生方との討論も活発にされました。

Special lecture IIではハワイ大学のCarlile先生(昭和大学客員教授)によるEthnic Differences in Prostate Cancer in Hawaii and

the Isoflavone Hawaii Studyを講演されました。前立腺癌のハワイでの多民族による比較(Caucasian、African-American、Hispanic (US born)、Japanese American)も興味深く、さらに大豆タンパクのIsoflavoneの摂取との関連について研究中のデータを発表して頂きました。

次にSymposium IIはHead & Neckの領域でした。昭和大形成外科Tosa先生、金沢医大耳鼻咽喉科Suzuka先生、昭和大横浜市北部病院外科Fukunari先生からそれぞれ興味深い発表がありました。

Symposium IIIでは、Endoscopic Nasal Surgeryで京都大Nakagawa先生、大分大Kodama先生、杏林大Yokoi先生に最先端の内視鏡治療について興味深い講演をいただいて熱心な討論が行なわれました。

Special lecture IIIは甲能理事長のご紹介でUnited States Pacific Air ForcesのChief Flight SurgeonであるCastillo先生からAerospace Medicine Specialty in the United Statesの講演がありました。日本では聴くことのできない戦闘機での航空医学のお話は聴衆者一同とても興味深く伺うことができました。強烈なGによるロック、低酸素、ガス拡散、方向感覚の消失、暴力的な乱気流など、瞬間の行動の差が即、死につながる戦闘機の厳しさを知ることができ、私達には知らない医学の世界を垣間見る事ができました。



Mini Symposium IIでは外科4題、泌尿器科3題、形成外科1題のそれぞれユニークな発表でした。



最後にSpecial lectureⅣとして次期会長である昭和大学横浜市北部病院の麻酔科学教授の世良田先生からThirty years of experience in chronic pain managementを頂きました。痛みの機序からペインコントロールの詳細についてわかりやすく解説され、特にGoshinjo (Gold stiks)が痛みに効くという話は興味深いものでした。

各演題とも大変興味深いものばかりで、時間がいくらあっても足りないくらいでした。発表いただいた先生方には十分な時間を差し上げることができず、この場を借りて深くお詫び申し上げます。しかしながら、本学会の目的である外科系領域でstate-of-the-artの話題を共有することができ満足しております。また若手の先生の英語の発表の場を提供することできたと思いますが、最近の若手の先生の英会話能力は眼を見張るものがありました。

夜のLani kai RoomでのFarewell Partyは参加された先生方、ご家族の方、スタッフが和気あいあいとハワイの夕暮れと食事と音楽を楽しみました。この秋の世良田教授が主催する30th PPSA-JCでの再開を期して、無事本会議を終了しました。

参加されました先生方には行き届かないことが多々あったことにお詫びすると共に、ご協力いただいたことに深謝いたしております。

最後に本会議を設立された故和田壽郎教授、草野満夫名誉理事長、さらにお世話いただいている甲能直幸理事長をはじめ杏林大学耳鼻咽喉科学教室の皆様、また本会議の準備運営に尽力してくれた教室の先生方に心より感謝の意を表します。

29<sup>th</sup> PPSA-JC会長  
昭和大学医学部泌尿器科学講座  
教授 小川良雄



PPSA-JC 歴代の理事長

名誉理事長 (1983~1997)	和田壽郎
名誉理事長 (1998~2008)	草野満夫 釧路労災病院 院長
理事長 (2009~)	甲能直幸 杏林大学 耳鼻咽喉科・頭頸科 教授

過去の学術大会

回	開催年	開催地	会長	所属施設
29	2013	Honolulu	Yoshio OGAWA	Showa University, Urology
28	2012	Bangkok	Masanori SUGIYAMA	Kyorin University, Surgery
27	2010	Honolulu	Toshiyasu SUZUKI	Tokai University, Anesthesiology
26	2009	Hongkong	Hiroya KITANO	Tottori University, Otolaryngology, Head and Neck Surgery
25	2008	Bangkok	Tetsuo HIDA	Kyorin University, Ophthalmology
24	2007	Honolulu	Atsushi SHINKAWA	Shinkawa Medical Group, Otolaryngology
23	2006	Bangkok	Naoyuki KOHNO	Kyorin University, Otolaryngology, Head and Neck Surgery
22	2005	Noumea	Koshi SATO	Kitasato University, Surgery
21	2004	Cairnes	Takeshi KAWASE	Keio University, Neurosurgery
20	2003	Guam	Yasufumi ASAI	Sapporo Medical University, Traumatology & CCM
19	2002	Honolulu	Hideki YOSHIDA	Showa University, of Urology
18	2001	Taipei	Koichi TOMODA	Kanazawa Medical University, Otolaryngology
17	2000	Bali	Akira KAKITA	Kitasato University, Surgery
16	1999	Tianjin	Yasuhiro FUJIWARA	Kousei General Hospital, Surgery
15	1998	Saipan	Mitsuo KUSANO	Showa University, Surgery
14	1997	Tokyo	Hirosato KIKUCHI	Toho University, Anesthesiology
13	1996	Chejudo	Toshio YAMASHITA	Kansai Medical University, Otolaryngology
12	1995	Guam	Masamitsu KANEKO	Sapporo Medical University, Traumatology & CCM
11	1994	Okinawa	Koshiro HIOKI	Kansai Medical University, Surgery
10	1993	Tokyo	Mitsuo MOTEGI	Toho University, Orthopedic Surgery
9	1992	Guam	Hiroshi TAZAKI	Keio University, Urology
8	1991	Tokyo	Shigeko YOSHIDA	Tokyo Women's Medical University, Obstetrics & Gynecology
7	1990	Tokyo	Shozo NAKAZAWA	Nippon Medical School, Neurosurgery
6	1989	Honolulu	Takeshi HIRAYAMA	Tokyo Women's Medical University, Plastic Surgery
5	1988	Tokyo	Hiroharu MATSUDA	Kyorin University, Surgery
4	1987	Tokyo	Yoshio KUROSU	Toho University, Anesthesiology
3	1986	Tokyo	Juro WADA	Tokyo Women's Medical University, Thoracic and Cardiovascular Surgery
2	1985	Tokyo	Juro WADA	Tokyo Women's Medical University, Thoracic and Cardiovascular Surgery
1	1984	Tokyo	Juro WADA	Tokyo Women's Medical University, Thoracic and Cardiovascular Surgery

## 平成25年度PPSA-JC役員会議

平成25年6月13日に平成24年度PPSA-JC役員会議が行われました。

話し合われた内容は以下のとおりです。

- 1 第29回PPSA-JC (ハワイ) 事務局長 昭和大学泌尿器科 富士幸蔵先生  
学会の参加者数、演題数等について
- 2 第30回PPSA-JC (ハワイ) 会長 昭和大学横浜市北部病院麻酔科 世良田和幸教授  
学会の詳細な予定について
- 3 第31回PPSA-JC 会長 杏林大学救急科 松田剛明教授  
第31回大会は台湾の台北において、平成26年10月に予定。

## PPSA-JCホームページ

PPSA-JCのホームページを立ち上げました。今後も随時アップしていく予定ですので是非ご覧ください。

<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/user/medicine/ppsajc27/>

## 年会費納入のお願い

今後も学会の更なる発展、運営・維持のため年会費納入へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

会費：施設会員／20,000円  
個人会員／5,000円

〈会費振込先〉

三菱東京UFJ銀行吉祥寺支店（普）

□座番号：0067967

□座名義：太平洋外科系学会

PPSA-JC News Letter 2013

発行 〈環太平洋外科系学会日本支部会〉

事務局：杏林大学耳鼻咽喉科頭頸科学教室  
〒181-8611

東京都三鷹市新川6-20-2

Tel：0422-42-5968

FAX:0422-42-5968

E-mail：kyorin-ent@ks.kyorin-u.ac.jp

日本支部理事長 甲能直幸

事務局長 小柏靖直